

公益社団法人 産業雇用安定センター 「60代シニア層の就業ニーズに関するアンケート調査」結果概要

公益財団法人産業雇用安定センターは、2023年11月に、「シニア層の就業ニーズに関するアンケート調査」を実施しました。同センターでは、全国47都道府県事務所において、60歳以上のシニア層に対する無料職業紹介事業（キャリア人材バンク事業）を実施しており、今回の調査結果を今後のキャリア人材バンク事業におけるシニア層の再就職支援等に活用するとしています。（詳しくは、(財)産業雇用安定センターdHP（[「60代シニア層の就業ニーズに関するアンケート調査」結果概要について | 産業雇用安定センター \(sangyokoyo.or.jp\)](http://sangyokoyo.or.jp)）でご確認ください。

【調査結果のポイント】

- ◆ 60代シニア層が仕事探して重視するのは、「仕事内容・職場の働きやすさ」（40.1%）、「就業場所や通勤時間」（34.9%）などが多く、「給料」（25.1%）、「体力・体調に合っている」（22.7%）はやや少ない。
- ◆ 希望する就労日数は、男性60～64歳の約半数が「週5日」以上を希望する一方、女性と男性65～69歳では7割から8割超が「週4日」以下を希望。  
就労時間は、男性60～64歳の7割が「一日6～8時間」を希望。一方、女性と男性65～69歳では5割超から7割が「一日4～5時間」を希望しており、就労日数と同様、男性60～64歳との間に傾向の違いがみられた。
- ◆ 38の職種に対する希望度では、「行政・公的機関での事務補助（年単位雇用）」など事務系の職種の希望度が高く、中でも、「事務補助・雑務」、「学校校務支援」など補助的な業務の希望度が高かった。
- ◆ 人手不足分野である運輸、警備、介護福祉の仕事はシニア層でも希望者は少ないが、「他に仕事がない場合は希望したい」とする者は一定数みられた。また、業務内容が限定または分割されることによって希望度が高まるものがあり、例えば「福祉施設の清掃・食器洗浄などの間接業務」は「介助業務」より10ポイント近く希望度が高かった。

● 仕事探して重視するもの（全体：％）

これまでの職業経験・知識を活かせる	仕事内容や職場の働きやすさ	給料	就労日数・就業時間	体力・体調に合っている	就業場所・通勤時間	地域貢献・社会貢献	その他	重視するものはない
32.5	40.1	25.1	33.7	22.7	34.9	2.3	0.6	0.9

● 週に何日働きたいか（％）

		週6日	週5日	週4日	週2～3日	週1日	その他
全体		2.4	29.4	28.7	37.8	1.6	0.1
60～64歳	計	2.8	36.6	30.2	28.6	1.6	0.2
	男性	3.3	45.3	28.0	21.7	1.6	0.3
	女性	2.0	23.5	33.5	39.0	2.0	0
65～69歳	計	2.0	22.2	27.2	47.0	1.6	0
	男性	2.0	28.3	31.0	37.3	1.3	0
	女性	2.0	13.0	21.5	61.5	2.0	0

● 1日に何時間働きたいか（％）

		6～8時間程度	4～5時間程度	2～3時間程度	1時間程度	その他
全体		48.2	44.4	7.0	0.1	0.3
60～64歳	計	56.4	38.0	4.8	0.2	0.6
	男性	70.0	26.7	2.3	0.8	0.7
	女性	36.0	55.0	8.5	0	0.5
65～69歳	計	40.0	50.8	9.2	0	0
	男性	47.0	48.0	5.0	0	0
	女性	29.5	55.0	15.5	0	0